

# 2026年春、建築確認におけるBIM図面審査を開始！

申請手続を効率化する、BIMデータで出力された申請図書を活用した新しい建築確認申請がスタートします

## <BIM図面審査の概要>

- ・申請者は、BIMデータの作成等に関する「入出力基準」に基づきBIMソフトウェアで作成した申請図書(PDF)を、「設計者チェックリスト」およびBIMモデル(IFC)とともに、申請時に提出します。
- ・審査者は、「設計者チェックリスト」に基づく項目について、整合性の確認を一部省略できます。
- ・申請図書の提出や指摘事項の応答などが、確認申請クラウド(CDE)を使用し効率良く行えます。

## BIMモデル (IFC)

建物形状の  
伝達・把握が  
スムーズ

## BIM図面 (PDF)

整合性の高い図書を  
効率的に作成・  
審査を一部省略

## 確認申請クラウド (CDE)

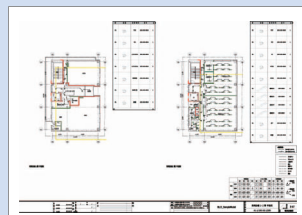
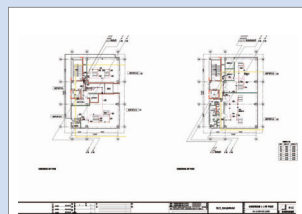
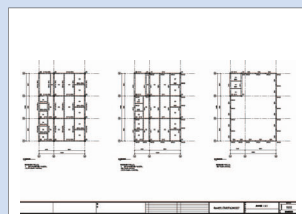
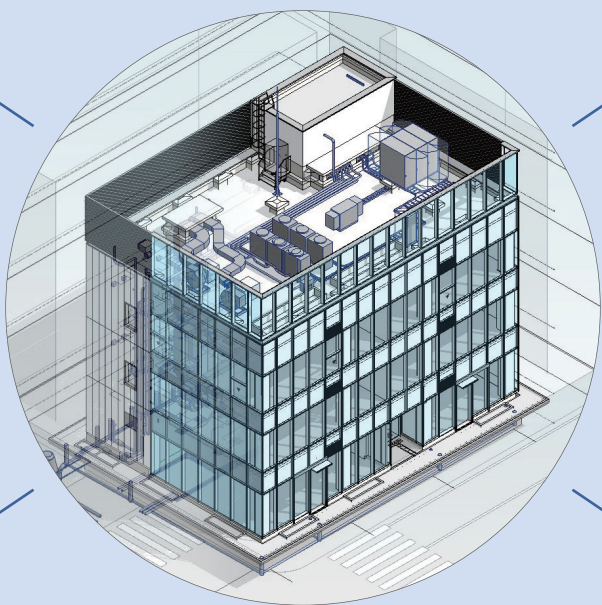
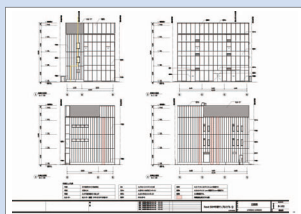
いつでも  
どこからでも  
申請・審査

## 申請者のメリット

- ・BIMソフトウェアを使用し、整合性の高い申請図書の作成が容易に行える。
- ・窓口に出向かずWebにより自社から申請や指摘事項の対応が行え、申請作業の効率化が図れる。
- ・審査の効率化で、審査期間の短縮が期待できる。

## 審査者のメリット

- ・設計内容の容易な把握や整合性確認の一部省略で審査作業の効率化が図れる。
- ・確認申請クラウドの使用で、複数人による並行作業、遠隔拠点やテレワークでの作業が可能となる。



## 電子申請 本格稼働

デジタルデータ  
による確認申請

## BIM図面審査 開始

BIMで作成した図面データ  
による確認申請

## BIMデータ審査 開始

BIMデータ  
による確認申請

BIMデータを  
活用した  
建築業界全体の  
高度化・効率化

2025年

2026年春

2029年春予定